

Fa | s
I | p
m | e
U | c
S | i
i | a
C | o
2 | n

上田
みらい

今回のことも定期演
奏会〇二二年九月
四日、東京のサントリ
ーホールでは、うしい
音楽を産み出してくれ
た、マエストロの川
瀬賢太郎さんと、ピア
ノの角野隼斗さんに取
材をする機会をいただ
いたので、そこで聞いた
二つの質問をしよう！

指揮とピアノ。役割
がちがうと自分が今まで一番だと思う曲の
種類もちがうのか、そ
うぎ間に思い、實際に
好きな曲を聞いてみま
した。川瀬マエストロ
は「ローマ三部作」角
野さんは「ラフマニノフ

フ。ピアノ協奏曲二番
だそうです。川瀬さんは二〇十四年に神奈川で演奏した時の感覚が一番「オーケストラと客席が一体となつて音楽を作り上げた」と感じたそうです。角野さんは、四年前のピティナ・ピアノコンクールでラフノマニフのピアノ協奏曲二番をひきましめた。この曲はロシアのロマン派を代表する曲の一つとして数えられていて、また、あらゆる時代を通して最も人気のあるピアノ協奏曲の一つでもあります。このコンクールで優勝したことが角野さ

人が口になろうと思
たきがけにもなった
そうです。コーマ三部
作はコーマの松
ローマの噴水
マの祭りに分かれてい
ます。実際に聞いてみ
て、この曲を作曲した
オットリーン・レスピ
ーギは音楽の表しが
独特なんだなと思いま
した。

次にピアニストを支える調律師は、角野さんにとってどのようないくつかの存在なのか、聞いてみました。調律師とは、楽器の音のくろいを一つ一つ直し、整えてくれる人のことです。

角野さんは、調律師と話すことで、おもしろさや新鮮さ、また、レスポンスが分かってくるそうです。ピアニスト

は、毎回ちがづヒテノ
と向いあわなくてはい
けません。調律師はそ
こを助けてくれるのだ、
と角野さんはいいます
とこれを聞いて私は、調
律師はピアニストにと
て、とても信頼できる
存在なんだと思いま
した。また、ピアニス
トをかけながら支える
調律師はとても、こ
いいなとも思いました
さて、そろそろオーケ
ストラの方に話をう
つしたいと思ひます。
私が今、印象に残
た曲は、ミタクさんある
のですがついじほる
ことにします。



2022年9月公演写真